

## 環境保全

**地域に親しまれる都市河川「別府川」の再生**（別府川をすばらしい川にする会）

別府川は、加古川市内の中心部を流れる典型的な都市河川です。昭和30年代の台風による高潮被害をきっかけに、コンクリートによる防潮堤や護岸改修が進み、農地を流れるのどかな風景は失われ、人が近づきにくい川となっています。そうした川を、もう一度、地域の人たちが親しみ、憩い、交流できる場として再生するため、親子観察会などの環境学習や河川清掃に取り組んでいます。



## 災害救援活動

**自分たちの地域は自分たちで守る**（浜田自主防災会）

阪神・淡路大震災後、「自分たちの地域は自分たちで守る」という精神のもとに、浜田社会福祉連絡協議会を母体に結成され、地域防災について地域に根ざした企画・立案・実行をしています。地域在住の有技術者（看護師、元消防団員、工作機械操作員等）を各班に配置し、災害時に効果的な活動ができるようにするとともに、組織活動を円滑に行うため、役員の中に渉外担当を置くなど、組織編成に配慮しています。また、防災行動力の向上のために、尼崎西警察署、尼崎西消防署、地元消防分団と連携し、独自に計画した総合防災訓練を地区広場にて年1回以上実施しています。



## 地域安全

**地域住民による安全で安心なまちづくり**（上高丸まちづくり防犯グループ）

住宅街での暴走行為や公園でのシンナー吸入など、少年非行が多発したことから、自治会を中心にPTAや婦人会、防犯協会支部、青少年育成協議会などが団結して活動を開始しました。活動は、月2回、約40人が参加しての夜間パトロールや朝の通学路における子どもの見守り活動、違法駐車排除のための昼間帯におけるパトロール、「安全・安心宅急便」と名付けた高齢者宅への訪問活動などを実施しています。また、平成17年9月から、ワンワンパトロール隊を結成し、犬の散歩時に防犯に配慮した気配り、目配りを心がけています。



## 人権の擁護・平和の推進

**医療通訳の実施**（NPO法人多言語センターFACIL）

阪神・淡路大震災時にそれまで放置されてきた未解決の問題が一気に外国人住民にふりかかり、約8万人の外国人被災者に対し、多言語による情報提供や相談などのボランティア活動を行ったのがきっかけです。平成11年から地域の多言語環境の促進などのために、翻訳・通訳事業でコミュニティビジネスを展開しており、26言語対応で300人近い翻訳・通訳登録者と依頼者のコーディネートを行ってきました。平成17年度は、こうした活動を発展させ、県・県国祭交流協会の協力のもと、外国人県民が、安心して受診ができるよう、有料の医療通訳（英語、韓国語など9言語対応、約80人が医療通訳として登録）を神戸市内の協力病院に派遣するモデル事業を行いました。



## 国際協力

**国際理解教育の推進**（NPO法人国際教育文化交流協会）

在日留学生をはじめ在日外国人、一般市民に対して、国際理解の向上に関する事業を行い、21世紀の国際的な人財交流を推進するグローバルネットワークを構築し、地域における国際化の推進、啓発、普及をもって国際平和に貢献することを目的としています。具体的には、留学生の生活相談、留学生の教育研修、地域や県内小中学校などでの地域国際理解教育の推進などに取り組んでいます。

また、国際理解教育普及事業の一環として、諸外国の留学生たちが多彩な文化や歴史を紹介しながら、一般市民が留学生とともに明日の世界を考える国際理解教育地域講座「世界は今－留学生の国々からのメッセージ」を実施しました。

